



この4年間で実現してきたこと

介護相談 **27** 件！

コロナ禍での高齢者自主グループ活動を提案

再開の手引きと DVD の活用で活動が実現！榎本久春自身も3つの自主グループに4年間で合計 41 回参加させて頂きました。



都に感染症により不足する介護職員の応援体制の仕組みを要請

介護職員応援体制強化事業の実現！

市内にリハビリテーション病院の誘致

南多摩保健医療圏として病床数 104 床を確保！

矢野口・大丸・坂浜に保育園開設

待機児ゼロの実現！

都に子育て支援の現金給付の要請が実現！

年6万円が来年1月より支給予定

都に子ども達の医療費助成制度の所得制限撤廃を要請

高校生等の医療費の助成制度が4月より開始！子ども達が等しく医療を受けられるよう23区部との格差を都が助成するように要望しました。



コロナ禍での学校行事の再開を提案

一部変更・代替で校外学習と行事が実現！

上平尾土地区画整理の終了

ふれあいの森、小田良谷戸公園



用地の確保

都立公園としての整備計画要請

都市計画小田良谷戸公園の整備計画審議

都道坂浜平尾線開通と小田良トンネル完成

坂浜平尾線の信号機3カ所を改善



榎本久春プロフィール

- 1962 年（昭和 37 年）8 月 6 日生まれ、
- 学歴 稲城第二小、稲城第二中、都立世田谷工業高校卒業
- 職歴

1981 年（株）東芝入社・翌年東芝府中工場勤務

1999 年 社会福祉法人正吉福祉会いなぎ正吉苑で16年間勤務

特別養護老人ホーム介護職員として勤務、2 年後のユニットリーダーに始まり、リハビリ管理職を経て、デイサービス事業責任者として、利用者の相談業務及び業務管理のマネジャーとして従事する

■ 経歴

稲城市消防団第五分団（分団長）

坂浜こども連合会（副会長）

坂浜サッカークラブ父母会（副会長）

稲城市災害防止協会理事（会計）

青少年育成坂浜地区委員会（副委員長）

稲城第二小学校・第二中学校運営連絡協議会

稲城ふれあいの森運営委員会（副委員長）

稲城第二小学校 学校評価委員会

坂浜サッカークラブコーチ兼保護者会（会長）

日野青色申告会理事

■ 議会経歴

2015 年 稲城市議会議員初当選

2019 年 稲城市議会議員2期目当選

福祉文教副委員長・建設環境委員会・議会運営委員会を歴任

■ パーソナルデータ 身長 172 cm 体重 69 kg 血液型 A 型 しし座

■ 趣味 サッカー（小3から始め、現在は幼児クラスのコーチ）
音楽鑑賞（80 年代邦楽 ユーミン、サザンオールスターズなど）



体操教室での様子



災害防止協会（旗手）



坂浜サッカークラブ（コーチ）

私達も応援しています！



市政に市民の声を届けるために榎本久春さんの力が必要です！18 歳までの医療費無償化に向け榎本久春議員は、私と一緒に都に対して 23 区並みに多摩地域も推進するため行動しました。現場第一で福祉のスペシャリストとして市民の期待に応えることができる確かな人です。

東京都議会議員 **石川良一**



榎本久春さんは、明るくまじめに何事にも取り組む人です。8 年前から日々、子ども達や地域の方々の安心・安全のために、狭あい道路の横断歩道に立って交通安全に努めています。消防団、青少年育成地区委員会と、共に汗を流し活動してきたから言える言葉です！

人のために、惜しむ事無く働ける人です。信頼しています。

稲城春風の会 会長 **榎本三守**



えの
もと
ひさはる
榎本久春

無所属

経験豊富な **60** 歳

稲城発

介護・福祉のスペシャリストを目指す
福祉先進都市の実現

5つの稲城を
実現します

① 福祉先進都市稲城を！

② 美しく活力ある稲城を！

③ 子供達がすくすく成長する稲城を！

④ 安全な街稲城を！

⑤ 環境先進都市稲城を！



稲城春風の会 〒206-0822 稲城市坂浜 473-4

TEL 090-5404-9068

E-mail : e-haru.hisa1962@kfx.biglobe.ne.jp

討議
資料

より安心・安全な街づくりを！

新型コロナウイルス感染症が3年前に発生し、世界中に猛威をふるい、この感染拡大によって私たちは、不自由な生活を余儀なくされてきました。この間、榎本久春は、感染拡大に立ち向かうため、市民の健康や不安を最優先に取り組んでまいりました。

また、ここ最近、市内でも凶悪な強盗事件が発生し、全国ニュースでも取り上げられ、市民の生活を脅かす事態となっています。市民が安心して暮らせる街づくりは喫緊の課題です。これからも市民一人ひとりが生き生きと安心して暮らせるまちづくり、市民が主役のまちづくりを目指して全力で取り組んでまいります。



東京 26 市中最も若い街・稲城！

稲城市は、東京都全体の中で、これからも発展を続ける自治体と位置づけられ、令和5年の当初では、93,421 人と人口は伸び続けています。平均年齢も44.3 歳と東京都 26 市の中でも一番若いまちとなっており、子育てする世帯も多く、子どもを育てて行くための新たな子育て支援対策が重要になっています。しかし一方では、2025 年問題（団塊の世代がすべて 75 歳以上）もあり高齢化は確実に進んでおり、まちづくり・人づくりは将来を見据え、その変化に対応できる準備が必要です。

榎本久春は、今までの介護の仕事や消防団、青少年地区委員などの地域活動の経験を活かし、地域のお年寄り、子供たちの住み良い街づくりに取り組んでまいりました。今後も全力投入してまいります。



榎本久春は 5 つの「稲城を」公約とします

① 福祉先進都市稲城を！

- 地域包括ケアシステムを進化させ、住み慣れた地域で最期まで暮らせる看取りケアを推進します。
- 市内に少ない障害者のための施設の開設や相談体制が充実するように取り組みます。



② 美しく活力ある稲城を！

- 交通不便地域の解消を図るために、乗合タクシー制度など小規模コミュニティ交通を推進します。各地で実証実験が行われた mobi（モビ）等のような AI オンデマンド交通の導入なども視野に入れ、稲城市に適した交通弱者対策に取り組めます。



- 鶴川街道の拡幅整備と歩行者の安全性を高めるために、坂浜の交差点の早期改修を進めます。
- 南多摩尾根幹線道路の全線早期開通と、渋滞の解消、産業基盤の強化を図ります。



③ 子供達がすくすく成長する稲城を！

- 18 歳未満の保健医療の制度に、都内で格差が生じない医療制度を推進します。
- おやこ包括支援センターを推進し、環境・境遇が似ている方々と共に寄り添える相談支援やグループ療法などの仕組みを作ります。
- 学童クラブの定員を増加させるなど待機児童の解消に取り組めます。



④ 安全な街稲城を！

- 狭い道路の解消に向けて取り組み、利便性と安全性が図れるよう推進します。
- まちの治安や環境が乱れないよう、防犯カメラの設置や環境悪化を防ぐ対策に取り組めます。



⑤ 環境先進都市稲城を！

- 清水谷戸や小田良谷戸公園など稲城の自然環境を守るため、生産緑地の継続や緑地公園などの緑地保全を推進します。
- 三沢川改修では、自然景観を活かした護岸整備を推進します。
- ごみの減量・再利用の促進を図り、適正な運用で市民負担が軽減できるよう取り組みます。

